

項目	評価指標 及び 具体的目標	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析
			項目	総合	
I 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進					
1	家庭教育支援の充実に努める。 ○ 家庭学習提出95% ○ 望ましい家庭学習の具体的姿の提示 ○ 保護者相談、個人面談の充実	○ 「家庭学習の手引き」等をもとにした通信や懇談会等での啓発（学期1回以上） ○ 就学前教育との連携（2回以上の交流） ○ 傾聴を基にした保護者の願いの把握	3.1		・保護者の困っていることについて話を聞く姿勢をもち、関係機関との連携も図れた。 ・家庭学習の提出は良好できている。
2	学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。 ○ 各行事等の参加率90%以上 ○ PTA執行部等との密な連携 ○ コミュニティ・スクール共同事業の推進	○ 魅力ある行事の企画及びそれらを核とした家庭・地域等との協体制の推進 ○ PTAとともに企画・運営する行事の実施（学期1回以上） ○ 地域と連携した地域行事等への参加の推進	3.0	3.1	・コロナ5類移行後、地域での行事の再開や学校行事への保護者・地域の方の参加も増えた。 ・保護者が非常に協力的である。
II 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人財を育む教育の推進					
1	読書活動を推進する。 ○ 全児童の目標設定と、その到達 ○ 読書好きの子どもを育む活動の推進（R4貸し出し冊数：11,082冊→R5目標貸し出し冊数：12,000冊）	○ 年間6回の読書啓発イベントの企画 運営 ○ 図書主任、学校図書館業務担当者、図書委員会の連携 ○ ボランティアによる読み聞かせの実施	2.9		・学校司書・図書担当・委員会活動の取組により、貸し出し冊数も増え、図書に親しむ雰囲気が出てきている。 ・家庭での読書の時間は足りていないと感じている保護者が多い。 ・読み聞かせボランティアに関してはなかなか思うように人が集まっていないのが現実である。
2	確かな学力を育む教育を推進する。 ○ 授業力向上につながる授業研究の究明 ○ 単元テスト平均得点率85%以上 ○ 一部教科担任制の取組の推進 ○ 新聞記事を活用した読解力育成	○ ICT機器等を活用した授業の在り方を深める相互授業公開 ○ 一部教科担任制の効果検証 ○ 個に応じた指導のためのチーム作り ○ 新聞記事等活用による読解力育成	2.9		・子ども新聞の提供をいただいているが活用についてはまだ十分ではない。授業や校内放送、他学年での活用など工夫の余地がある。 ・ICTの活用も推進が図られたが、まだ活用の余地があると思う。
3	人権を尊重し豊かな心を育む教育を推進する。 ○ ふるさと学習の充実 ○ 「いのちを大切にする授業」の企画 ○ いじめの早期発見・早期対応 ○ 教育相談の充実	○ 畜産業見学等と命をつなげる授業 ○ 「いのちを大切にする授業」の参観日での実施（年1回） ○ 全職員で全児童の育成に取り組む指導の充実 ○ 毎月の教育相談の実施と児童支援	3.1		・「いのちを大切にする授業」について本年度は参観日で行うという周知及び共通理解ができていなかった。 ・教育相談を行ったり、生徒指導対策会において全職員で共通理解をしたりして、指導にあたっていた。
4	特別支援教育を推進する。 ○ 個別の支援について共通理解・共通実践 ○ 特別支援コーディネーターを中心とした支援体制の構築	○ 月1回の生徒指導対策会、年5回の校内支援委員会での情報共有と共通実践事項の確認 ○ 関係機関との連携と情報共有	3.1	3.1	・子どもたちの悩みや困り感に寄り添った指導を行うよう心がけている。 ・その都度、情報共有や共通実践事項の共通理解を行い指導ができた。 ・SCなど関係機関との連携ができた。 ・全職員の協体制が整っている。
5	郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育を推進する。 ○ 地域行事と学校教育の関連した計画 ○ キャリア教育と関連付けた計画	○ 実施内容の学校HP等での紹介 ○ 郷土への思いを高めるためのキャリア教育との連携（人財活用）	3.2		・様々な教科や学年で積極的に活用できた。 ・地域の方から職業について学ぶ機会があるとよい。 ・HPの定期的な更新・活用を推進したい。
6	キャリア教育を推進する。 ○ キャリアパスポートを生かした教育の推進 ○ 「キャリアパスポート」による地域の行事等との関連付け	○ 小中高を見通した「キャリアパスポート」の100%活用 ○ 年間指導計画へのキャリア教育関連の挿入と見直し ○ 地域人材の活用年間30回以上	3.0		・地域人材についてはよく活用できた。 ・キャリアパスポートについてはまだ十分に活用できていないところがある。 ・年間指導計画の見直しを今後も進めていく。
7	社会の変化に対応した多様な人財を育む教育を推進する。 ○ 学校教育及び家庭学習におけるICT活用の推進 ○ 国際理解教育及び外国語教育の充実	○ 授業でのICT機器の活用 ○ タブレットを活用した授業実践例の家庭学習の提案 ○ タブレット持ち帰りによる家庭学習での活用（3年生以上） ○ ALT、国際交流員等の積極的活用	3.0		・タブレットの活用が図られている。今後、ドリル等の活用を積極的に行い、成果や課題を共通理解しさらなる活用ができればよいと思います。 ・タブレットで持ち帰り、課題を行うことができた。オンライン授業については今後実施予定。
III 教育を支える体制や環境の整備・充実					
1	教職員の資質向上と働き方改革の推進に努める。 ○ 教職員の意識改革の推進 ○ 内容に応じた校務分掌の工夫（全体・小集団・個人） ○ 校内外の研修への主体的参加	○ 日常的に相談しやすい体制づくり ○ 職員会における一人一発言 ○ 行事内容及び役割分担の見直し ○ 新教育研修制度の周知と主体的参加	3.3	3.1	・職員研修等で、全職員熱心に授業改善に取り組んでいる。さらに実践を深めたい。
2	安全、安心な教育環境の整備・充実に努める。 ○ 緊急時・不意時における危機管理の徹底と常時危機意識の高揚 ○ 児童の危機意識を高める指導	○ 月1回の安全点検時におけるマニュアルを生かした環境整備 ○ 安全点検や登下校時の指導における危機管理マニュアルの活用（月1回） ○ 避難訓練時のTO-DOリストの活用	3.0		・危機管理マニュアルの活用をはかり、行事等で事故のないよう対策を図りたい。 ・防災教育の観点からも児童の危機意識の高揚を図りたい。
IV 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進					
1	学校体育の推進に努める。 ○ データを生かした指導の充実 ○ 個の力を伸ばす授業及び日常指導 ○ 体を動かすことが好きになる教育の推進 ○ 健康増進意識の高揚	○ 体力テストの結果の分析考察 ○ 体力向上プラン活用の授業構成（導入の工夫） ○ 委員会活動提案の運動遊びの実施 ○ 基本的な生活習慣の定着及びう歯治療等の治療率の向上（R4：45%→R5：70%）	2.8	2.8	・体力テストの結果や体力向上プランについては夏の研修で周知できた。 ・委員会活動提案の運動遊びはできていない。 ・体育の授業を通しての効果的な体力向上の在り方を再度見直していきたい。 ・養護教諭の保護者への呼びかけからR4よりも治療率があがっている。